

5 痛悔前の祈禱文

あなたがたは司祭のところへ痛悔に行く前に、準備として次のような祈禱をしなければなりません。数人の信者が同じ日に痛悔に行こうとする場合、この祈禱は個別でなく一緒に行われることがあります。司祭がいない時は、「父と子と聖神の名による、アミン。」と唱えて始めます。

(司祭・我等の神は恒に崇め讃めらる、今も何時も世世に。)

天の王慰むる者よ、眞實の神、在らざる所なき者、満たざる所なき者よ、萬善の寶藏なる者、生命を賜うの主よ、来りて我等の中に居り、我等を 諸の穢より 潔くせよ、至善者よ、我等の靈を救い給え。

聖なる神、聖なる勇毅、聖なる常生の者よ、我等を憐めよ。

聖なる神、聖なる勇毅、聖なる常生の者よ、我等を憐めよ。

聖なる神、聖なる勇毅、聖なる常生の者よ、我等を憐めよ。

光栄は父と子と聖神に歸す、今も何時も世世に。アミン。

至聖三者よ、我等を憐め。主よ、我等の罪を 潔くせよ。主宰よ、我等の 愆を赦せ。聖なる者よ、臨みて我等の病を癒し給え。

悉く爾の名に因る。

主、憐めよ。主、憐めよ。主、憐めよ。

光栄は父と子と聖神に歸す、今も何時も世世に。アミン。

天に在す我等の父よ、願は 爾の名は聖とせられ、爾の国は来り、爾の旨は天に行わるるが如く、地にも行われん。我が日用の糧

を今日我等に與え給え。我等に債ある者を我等免すが如く、我等

の債を免し給え。我等を 誘に導かず、猶我等を凶悪より救い

給え。蓋、国と権能と光栄は爾に世世に歸す、アミン。

讃美たる生神女よ、我等の為に 憐の門を開き、爾を恃む者に、

亡ぶることなく、爾に依りて 禍を遁るるを得せしめ給え、爾はハ

リストスの民の救なればなり。

(さらに五十聖詠を読んでよい。)

(教会によつては、次の祈禱文はあなたが自分の罪を司祭に痛悔す

る直前・直後に読まれている。)

痛悔前の祈禱

罪人のわたしは、主神全能者・至聖三者、讃美たる生神女マリヤ、

諸聖人、罪を聴いてくださる神父に、全てのわたしの罪を痛悔しま

す。

痛悔後の祈禱

このような知ると知らざるあらゆる罪によつて神を傷つけ、怒らせ

たことを心から後悔しています。わたしは心から悔い、神の助けに

よつて自分の生活をより良いものにすることを約束します。過去の

生活のあらゆる罪の赦しを神に謙虚にお願いします。

(続く)